

# 世界との絆、より深く

## 清香奨学会・如蘭塾 青少年中国派遣団

清香奨学会・如蘭塾がこのほど、県内の高校生を中国に派遣。武雄高校11人、佐賀西高校、致遠館高校、嬉野高校、太良高校の4校から各1人の計15人が3月23日～28日の日程で、旅順や大連、瀋陽を訪れました。

このうち、如蘭塾に学ぶ少女が日本へ出発する起点になった瀋陽では、東北育才外国語学校の高校生や遼寧大学の学生と交流を行いました。武雄高2年の泉響太さんは「メディアの情報とは違う中国の姿も見ることができ、大変勉強になりました」と話していました。



▲経済発展著しい中国のありのままの姿を体験。現地の学生と草の根交流で日中友好の確かな絆が生まれました。



▲昭和60年から続くセバストポール市との交流。これまで、世界に目を向ける若者たちを数多く輩出してきました。

## セバストポール訪問団

米国・セバストポール市訪問団21名(生徒18名、引率3名)が4月4日(木)夜、武雄へ無事に帰ってきました。

3月23日に武雄を出発した一行は、現地で11日間にわたり一人一軒のホームステイを体験。学校では、ジュースやドーナツを授業中に出されて驚くなど、文化・風習の違いにとまどう場面もありましたが、それぞれ貴重な時間を過ごしました。帰国後の報告会では、生徒を代表して吉田敦晴さん・田中稀ひろさん(いずれも青陵中2年)が挨拶。「参加して、視野が広がった。支えてくださった皆さんに感謝したい」と話していました。

## 支援センター長に吉牟田さん

### 地域ぐるみで 子育てを

このほど「武雄市子育て総合支援センター」のセンター長に、吉牟田美代子さんが就任しました。平成19年のセンター開設以来、初の民間人登用のセンター長となります。

吉牟田さんは保育学・体育学・舞踊学が専門で、現在は佐賀女子短期大学コミュニケーション学ジ代表や活水女子大学非常勤講師としても活躍しています。

## 見せた！TVチャンピオンの意地

## 技能グランプリで銀メダル

次こそ日本一だ！  
全国から集まった熟練の職人たちが、技能の日本一を競い合う「技能グランプリ」。



▲笑顔の小林伸語さん(左)と父で師匠の修二さん。「修行に終わりはありません」とのこと。

その第27回大会において、小林はんや(武雄町昭和)の小林伸語さん(36)が印章木口彫刻の部2位となりました。小林さんは第24回技能グランプリのゴム印彫刻の部で見事優勝。しかし、木口彫刻の部で出場した第26回大会は6位に終わりました。これまでゴム印と木口彫刻の2冠を達成したのは一人だけで、今回は史上2人目の快挙達成まであと一歩の大健闘でした。



小林さんは、「高評価を受けたのは嬉しいが、やはり優勝を逃して悔しい」と話していました。大会終了後すぐに、次の大会に向けて課題に取り組んでいるそうで、今後の快挙達成が期待されます。